

# 高梁川流域キッズ

たかはしがわりゆういき

高梁川流域の  
てんねんきねんぶつ  
天然記念物

## かんけい じょうほう 関係のある情報

【場所】高梁市内山下地内

【時代】ー

【指定年月日】昭和31年12月28日

【所有】林野庁【見学】不可

【見学時の注意】

- ・サルに食べ物を与えないこと。
- ・石や棒などでサルをおどさないこと。
- ・サルと目と目が合っても睨みつけたりしないこと。
- ・サルが近づいてきても、相手にしないこと。
- ・手荷物などはしっかり抱えておくこと。
- ・駐車の際は、車の窓を閉めておくこと。
- ・生き物のため、見えない場合があります。

がぎゅうざんのさるせいそくち

## 臥牛山のサル生息地

かんけい しまち  
関係する市町

たかはし  
高梁市



てんねんきねんぶつ

## この天然記念物について

たかさきやま さる え づ

大分県高崎山の猿の餌付けに刺激され、昭和29（1954）年4月、当時の三木岡山県知事を会長とする「臥牛山野猿保存会」が結成されました。

京都大学の指導を受け、翌年餌付けに成功し、高梁市立臥牛山自然動物園として発足しました。しかし、30年あまりの運営ののちには入場者が減少し、より自然に近い状態に戻すため、餌付けを含めた保護管理を教育委員会で行うこととし、平成3（1991）年12月をもって閉園しました。

現在、約160頭が群れを形成しており、生息地指定区域を中心に周囲を遊動している状況です。